

地域に広がる工夫と協力の輪

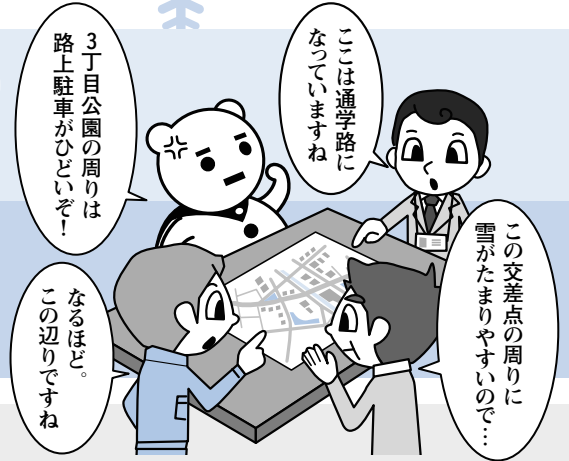


市民が参加して情報を共有する
地域懇談会が行われています

本年度は80の町内会での実施が目標

住宅街の除排雪や冬の道路状況について、住民・除雪事業者・市職員が集まり、地域の課題を洗い出します。

→ お互いの理解が深まり、地域で雪に取り組むきっかけに!



懇談会を行うメリット

- ・市の除雪体制が詳しく分かる
- ・市や除雪事業者に地域の状況を細かく伝えられる など

懇談会を開きたいときは?

各区の土木センターにお問い合わせの上、詳細をご確認ください。

路上駐車が減少

懇談会によって広まった取り組み その1

市民・警察・市職員が合同でパトロール

21年度は市内175町内会で実施

町内会・警察・市職員と一緒に地域を歩き、路上駐車している車のフロントガラスにルール順守のための啓発文(右)を張っています。



↑ 合同パトロールの様子。排雪前に実施し、作業をスムーズにします

取り組み事例 60人規模の巡回により、路上駐車が着実に減少

冬は道が狭くなり、路上駐車があると救急車などが通れない心配がありました。そこで、地域で話し合い、3年前から60人規模での合同パトロールを実施。その結果、路上駐車が着実に減ったと実感しています。こうした活動は継続が大切。路上駐車は絶対にいけない、という意識を地域の文化として根付かせたいですね。

手稲区
新発寒わらび連合町内会会長
かわぐち たけし
川口 武さん



地域との協力で作業がしやすくなりました

路上駐車の多い場所など、問題になる道路の情報を、地域の方と日ごろから確認し合うことを心掛けています。そうして集まった情報を基に地域の方が行う合同パトロールはとても効果的で、目に見えて路上駐車が減っています。そのため、除雪がスムーズに行えるようになり、皆さんに気持ち良く外出してもらえようになりましたよ。

西区南地区除雪センター長
あべ たけのり
安部 武徳さん



除雪事業者も実感!
パトロールの効果